

令和元年度農研機構マッチングフォーラム in 関東の開催
第1部 「スマート農業実現に向けた実証プロジェクトの推進」
第2部 「関東地域向けのもち大麦品種と国産大麦の消費拡大に向けて」

1. 趣 旨

大麦は現代人の食生活に不足しがちの食物繊維の供給源として注目されており、血糖値の上昇を抑えたり、コレステロールを減らす機能が報告され、健康食品として人気が高まっています。なかでも食感の優れるもち大麦（もち麦）の需要が伸びており、国産麦の生産拡大が期待されています。このような状況から、関東地域向けの新品種活用によるもち大麦の生産拡大と、国産大麦の消費拡大につなげることを目指して、生産者、行政、実需者と研究者が双方向で意見・情報交換を行うマッチングフォーラムを開催します。

また、本年度より始まった「スマート農業実証プロジェクト」の取り組みの紹介も併せて行うことで、会場参加者と情報交換や活発な議論を行います。

- 2. 開催日時** : 令和元年 12 月 5 日 (木) 10:00~17:30
(第1部 10:00~11:30、第2部 13:00~17:30)
- 3. 開催場所** : ソニックシティホール4階 国際会議室
(埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)
- 4. テーマ** : 第1部 「スマート農業実現に向けた実証プロジェクトの推進」
第2部 「関東地域向けのもち大麦品種と国産大麦の消費拡大に向けて」
- 5. 主催** : 農林水産省大臣官房政策課技術政策室
農研機構中央農業研究センター
農研機構次世代作物開発研究センター
- 6. 後援** : 全国農業協同組合連合会
全国精麦工業協同組合連合会
- 7. 参加費** : 無料

8. 参加申し込み

事前登録をお願いします。農研機構のWEB ページ（以下 URL）からのお申込み、または、参加申込書にお名前、所属、連絡先（電話、FAX または e-mail）、出席希望内容（第1部、第2部）を記入し、申込先へ郵送または FAX でお申込みください（11 月 25 日（月）必着）。定員（150 名）に達し次第締め切ります。

・ ホームページ <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2019/10/132107.html>

・ 申込先：農研機構中央農業研究センター 産学連携室
〒305-8666 茨城県つくば市観音台 2-1-18
Fax:029-838-8574

9. 農研機構マッチングフォーラム in 関東の開催内容

1) 開会挨拶 10:00

2) 第1部(10:15~11:30)「スマート農業実現に向けた実証プロジェクトの推進」

(1) 「スマート農業実証プロジェクト」の概要

農林水産省 農林水産技術会議事務局研究推進課

(2) 令和元年度の実証コンソーシアムの取組み概要

・茨城県南部スマート農業実証コンソーシアムの取組み

農研機構 中央農業研究センター 生産体系研究領域 吉永 悟志

・「発酵の里こうざき」から発信するスマート農業実証コンソーシアムの取組み

神崎町スマート農業実証プロジェクト研究会 (農) 神崎東部 石橋 一博

・R&G 石島輸出用米低コスト栽培実証コンソーシアムの取組み

株式会社ライス&グリーン石島 代表取締役 石島 和美

(3) 土地利用型経営におけるスマート農業の経営的評価

農研機構 中央農業研究センター農業経営研究領域 宮武 恭一

3) 第2部(13:00~) 「関東地域向けのもち大麦品種と国産大麦の消費拡大に向けて」

第2部 開会挨拶

基調講演 「おいしくてカラダの中からキレイに！もち麦生活」

ファミリークッキングスクール主宰 料理研究家 浜内 千波

(1) 農研機構のもち大麦新品種

農研機構 次世代作物開発研究センター麦研究領域 塔野岡 卓司

(2) 栃木県におけるもち大麦の品種開発

栃木県農業試験場 研究開発部 麦類研究室 塚原 俊明

(休憩)

(3) もち大麦の多収栽培法

農研機構 中央農業研究センター水田利用研究領域 島崎 由美

(4) もち大麦品種「キラリモチ」生産・加工・販売の取組み

株式会社 トペコおばら 代表取締役 沖田 良次

(5) 大麦の消費拡大への期待と取組み

株式会社はくばく 市場戦略本部開発部 小林 敏樹

4) パネルディスカッション(15:50~16:20)

パネラー: 第2部の講演者を予定

5) 展示ポスター説明(16:20~16:30)

6) 閉会 16:30

閉会后、実物(試食)・ポスター展示、技術相談

(17:30 閉場)